

中国の保険セクター

中国 / 保険 / セクターレポート

14年第1四半期に保険料が大幅に増加した

2014年4月17日

- 生命保険市場では保険料収入増加の勢いが回復した
- 今後、価値増大の重視を継続
- 着実な増加を辿る損害保険料
- 短期的には株価に売り圧力が続く可能性も



最新情報

14年第1四半期に生命保険市場の保険料は大幅に増加した 保険会社の発表によれば、14年第1四半期に大手生命保険会社の保険料収入は大幅に増加した。China Life (2628 HK)、Ping An (2318 HK) (PA)、CPIC (2601 HK)、NCI (1336 HK)、CTIH (966 HK)の14年第1四半期の生命保険料収入は前年比でそれぞれ 18.1%、26.7%、25.3%、53.0%、42.9%増加した。PICC Group (1339 HK)の2014年1月~2月の生命保険料収入は前年比で208.9%増となった。

生命保険会社の年初効果 大手生命保険会社の保険料収入は2014年1月に爆発的な増加を記録した。一方で、2014年2月ならびに3月の保険料は比較的穏やかな増加となった。当社は、保険会社については1時払い保険商品を販売して1月の保険料収入を大きく増やそうとする年初効果が大幅増加の要因であると考えている。通常、それらの商品は保険料収入の増加に貢献するが、利益率への貢献度は比較的低い。

価値増大の重視を継続 ウェルスマネジメント商品との競合に晒される中、生命保険会社は均整のとれた成長の達成に向けて数量と価値の両方を重視する姿勢を維持した。とは言え、当社は14年第1四半期に記録した保険料の大幅な増加が14年第2四半期から第4四半期に続くことはおそくないと考えている。当社は、今後は生命保険会社が価値の増大をより重視するようになると予想している。大手生命保険会社の中では、PAとCPICが好調な代理店販売を背景に同業他社を上回る価値の増大を達成する見込みである。

着実な増加を辿る損害保険料 PA、CPIC、CTIHの14年第1四半期の損害保険料収入は前年比でそれぞれ 27.9%、13.5%、24.3%増加した。PICC P&C (2328 HK)の保険料収入は、2014年1月~2月に前年比17.6%増となった。

当社の見方

短期的には株価に売り圧力が続く可能性も 香港上場の保険会社各社の株価は、H株とA株の株価の収斂に対する期待が原因で短期的な売り圧力に見舞われている。当社は、二市場間の相互接続が進む中で短期的には売り圧力が続く可能性があるかと予想するが、その一方で2014年に大手生命保険会社の保険料収入の増加ペースは回復すると見ている。

免責条項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィック・グループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。